

主な業務実績

機能保全計画等の策定業務

発注者 千葉・青森・宮城・島根・長崎県内市町村

社会実証を通じたブルーカーボンクレジットの活用検討業務

発注者 水産庁

マウンド礁の整備効果検証のための調査業務

発注者 長崎県・鹿児島県・宮崎県

漁港施設等災害復旧工事発注者支援業務

発注者 被災県及び市町村

水産基盤施設ストックマネジメントに係る手引き・ガイドラインの改訂

発注者 水産庁

サンゴの種苗生産技術の開発

発注者 水産庁・沖縄県

魚礁・漁場の効果調査

発注者 長崎県・青森県・北海道

水産基盤整備工事等の調査・設計・積算・工事監理業務

発注者 水産庁・県及び市町村

磯焼け対策ガイドラインの改訂

発注者 水産庁

マウンド礁の調査、設計施工方法検討、積算、工事監理に関する業務

発注者 水産庁・長崎・鹿児島・静岡県

洋上風力発電施設を活用した漁業協調モデル検討調査業務

発注者 長崎県

主な資格保有者

令和6年4月1日現在

- | | | |
|----------------------------------|----------------------|------------------|
| 9名 技術士
総合技術監理部門、
水産部門、建設部門 | 15名 一級土木施工
管理技士 | 1名 二級建築士 |
| 27名 水産工学技士 | 1名 RCCM | 11名 測量士、
測量士補 |
| 12名 潜水士 | 2名 コンクリート
技士 | 1名 コンクリート
診断士 |
| 3名 下水道（2種） | 1名 海洋・港湾構造物
維持管理士 | 1名 地質調査技士 |

主な観測機器とシステム

- サイドスキャンソナー
魚礁位置確認、藻場の状況確認等
- インターフェロメトリ音響測深機
3D深浅測量（使用最大深度200m）
- 水中テレビロボット（ROV）
魚礁効果調査、藻場調査等
- 地層探査用サブボトムプロファイラー
魚礁施設等の埋没、泥の堆積層厚確認等

- 魚礁効果診断システム
GPSデータロガーによる操業実態調査等

各種観測機器を
備えています



- | | |
|-------------------------|--|
| 1 東京本部
☎03-3546-6858 | 〒104-0045 東京都中央区築地2-14-5 サイエスタビル3F
東京メトロ日比谷線築地駅2番出口より徒歩1分 |
| 2 松江支所
☎0852-28-1630 | 〒690-0055 島根県松江市津田町301番地 リバーサイドビル2F
JR松江駅から徒歩6分 |
| 3 長崎支所
☎095-827-5669 | 〒850-0035 長崎県長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル2F
JR長崎駅より路面電車にて大波止下車徒歩2分 |

■サンゴ増殖研究所
〒901-3104
沖縄県島尻郡久米島町真謝500-1
☎080-2566-8187

■岩手事務所
〒027-0051
岩手県宮古市南町11-27 第3うまいやビル3F
☎0193-65-9350

認定
水産関係公共工事等
発注者支援機関

FIDEC
FISHERIES INFRASTRUCTURE DEVELOPMENT CENTER
一般社団法人 水産土木建設技術センター

活力ある漁港 豊かな漁場 活気ある漁村 づくり

水産土木技術を駆使し、豊かな海の恵みと安全な漁港漁村を
未来へつなぐサポートをいたします!!

01 水産関係公共工事等の発注者 に対する支援と災害復旧支援

発注者支援

水産基盤整備事業の円滑な実施を図るため、調査・設計・積算・工事監理・技術審査の支援業務を行います。また、水産基盤整備事業にかかる積算基準の分析・研究を行っています。

災害復旧支援

台風や地震、津波などにより漁港等の施設が被災した場合、災害復旧事業を速やかに実施し、漁業活動への影響を最小限に抑える必要があります。このため、自治体と「漁港等の施設の災害復旧支援に関する協定」を締結し、被災の際にはドローン等を用いた初動調査や迅速な施設の復旧に協力しています。



詳しい内容はホームページをご覧ください

<https://www.fidec.or.jp/>

水産土木建設技術センター

検索

02 調査・研究及び成果の普及

漁港・漁場施設にかかる設計から維持管理まで幅広く対応します。

また、藻場造成や磯焼け対策等の技術支援を行うとともに、最先端の機器を駆使して、魚礁効果や漁場環境を効率的・定量的に診断します。

漁港施設等の長寿命化対策

漁港・漁場施設、海岸保全施設及び集落排水施設の長寿命化対策に必要な機能保全計画（長寿命化計画）等の策定や、当該計画に基づく保全工事（対策工事）の積算等業務を支援します。



▲新技術（UAV）による簡易調査



▲漁業集落排水施設調査状況



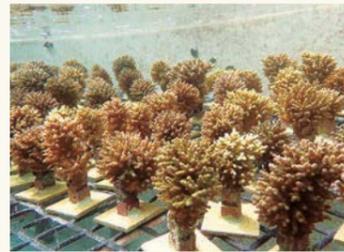
▲機能保全計画書（長寿命化計画）の策定



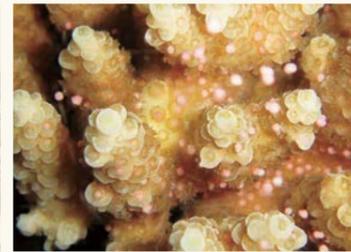
▲水中ドローンによる調査

サンゴの海を守り育てる取組み

沖ノ島島や沖縄沿岸地域で有性生殖法によるサンゴ増殖技術や高水温に対応できるサンゴの開発に取り組んでいます。また、技術の普及活動も行っています。



▲サンゴの増殖の状況



▲飼育しているサンゴの産卵

豊かな海を育む藻場の保全と創造

磯焼け対策等の漁場環境修復技術やブルーカーボンに関する調査研究を行い、これらより得られた知見を活かして社会的な関心を高め、持続的な藻場の保全活動に取り組む漁業者や行政に対してサポートを行っています。



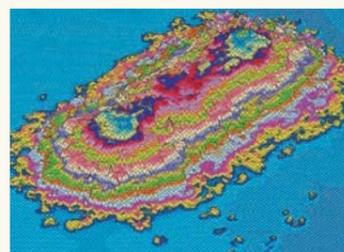
▲食害防止ネットによるワカメの保護



▲ダイバーによる藻場調査

沖合海域等における大規模人工漁場の造成

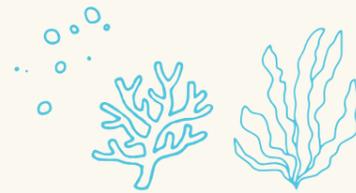
マウンド礁等の湧昇発生構造物による人工漁場の造成にかかわる調査、設計、積算・工事監理、効果調査まで業務を支援します。



▲マウンド礁の出来形の可視化

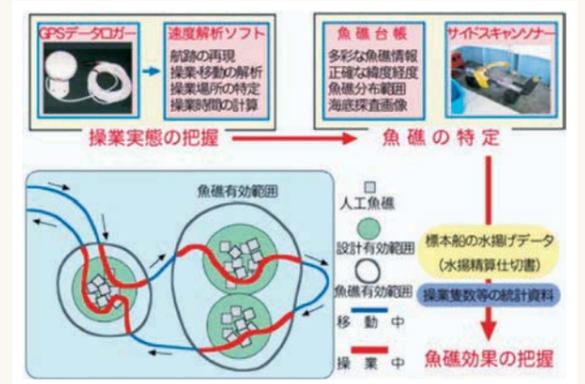


▲マウンド礁の蛸集の状況



魚礁効果の定量的把握及び予測

GPSデータロガー（ICT）、サイドスキャンソナー、魚礁台帳（GIS）、水揚精算仕切書等の活用技術からなる魚礁効果診断システムにより、魚礁効果の定量的な把握ができます。計画策定、事業評価、施設管理の効率化や情報提供による魚礁利用の促進を図ることができます。さらに現在は、この蓄積データから魚礁設置に最適な水深、高さ、材質、経過年数等を導き出す効果予測を行っています。

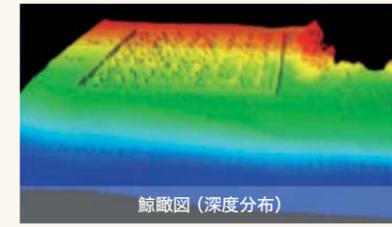


▲魚礁効果診断システムの概念図

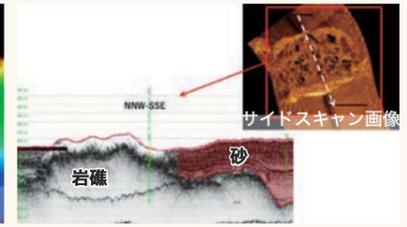
漁場における広範な構造物影響調査

漁場における施設配置から影響調査まで幅広く対応しています。

魚礁や海底構造物の位置や積み重なり、海底地層の組成、魚群の種類や体長・尾数を調査するだけでなく、洋上風力発電の影響調査を実施しており、漁業者に納得される魚礁・漁場の活用を支援しています。



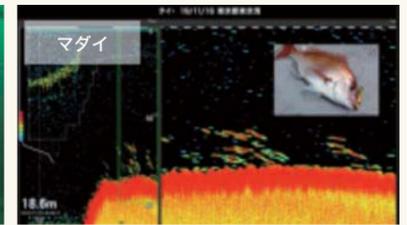
▲音響測深技術



▲地層探査技術



▲水中画像撮影技術



▲水中可視化技術

03 水産土木工事等の技術者の養成

地方公共団体職員を対象として、「水産土木工事实施担当職員研修会」「水産土木技術者養成講習会」「漁港漁場関係工事積算基準講習会」等を開催しています。また、民間企業職員を対象として、「水産工学技術士養成講習会及びそのフォローアップ研修会」を開催しています。

その他、地方公共団体等の要請に応じて研修会への講師派遣を行っています。



▲意見交換の様子



▲研修会の様子



▲講師派遣の様子

